

移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

これから

八頭町に来て三年間が経ちました。八頭町の皆さんに親切にしていたいただき、幸せな三年間を過ごすことができました。文章で書くところ、どこかに行ってしまうように思われるかもしれませんが、これからも引き続き八頭町で生活させていただき

ます。集落のことを何も知らない僕に、いろいろと丁寧に教えて下さり、お祭りや運動会等の催しにお声掛け下さった才代集落の皆さん。風邪を引いたときに栄養ドリンクを差し入れてくださった方に。ぎっくり腰になった時に腰をマッサージしてくださいました八東第一分団の先輩等々。お世話になった方のことを書くときききれませんが、感謝の気持ちでいっぱいです。

地域おこし協力隊としての任期は終わりましたし、



佐藤 竜也

こうして月一回の活動報告はなくなりませんが、協力隊としての肩書がなくなるだけに、私は変わらず八頭町にいます。そのことを幸せに感じますし、地域の方々により深く繋がることができ、本当に良かったと思っています。皆さま、本当にありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いいたします。

果物の役割

皆さんはどんなときに果物を食べますか。私はこれまで、果物というのは日々の食卓にとりより、いただきますものをたまに食べるといった感覚でいました。ただ、道の駅にいますと、日頃から果物を食べている方に多く出会います。また、贈り物など特別な場面にも多く登場します。

例えばお盆にはお供え用にとお客さまが来られ、少々高くてもより良いものをお求めになられます。その盆前需要に合わせてべくハウス二十世紀梨が開発されました。ちなみにそれまでは八雲梨がその位置にあったそうです。そして夏ギフトの時期には、

露地の二十世紀梨や新甘泉等の注文が毎日のように全国からやってきます。選果場にびっしり並ぶ箱詰め



ない活気を感じました。また、贈答用もさることながら、道の駅に個別に出荷される生産者さんはそれぞれにこだわりを持っておられ、そこに惹かれたご指名買いも少なくありません。贈り物に、お土産に。果物を手に取る方の想いに応えられるよう、八頭町産果物の味や特徴などをしっかりと学び、活かしていきたいと思っています。

○協力隊からのお知らせ

・11月24日(土) 18:00~20:00「レコード音楽会」(於:道の駅はつとう) <松下>

●移住風景バックナンバー 八頭町役場のホームページからカラーでご覧いただけます。